釧路市立中央小学校

校長　塩　住　啓　介

児童数　　１５４名

学級数　１０（４）学級

職員数　　２４名

－　学校と地域が協働して、児童の成長を支える学校づくり　－

「次世代の釧路を考えられる子ども」の育成を目指し、学校と地域が協働して児童の成長を支える学校づくりに努めている。

特に、平成26年度から、「コミュニティ・スクール導入に関する実践研究」の指定校として、平成29年度には、「学校図書館活用促進事業」の指定校として、地域の教育力を生かした学校づくりの推進や学校図書館を活用した授業づくりの推進に大きな成果を上げている。

― 児童の健全育成を目指した地域の教育力の効果的な活用 ―

児童の健全育成を図るため、地域の教育力を効果的に活用し、地域人材との協力体制の整備に努めている。

特に、自主防犯ボランティア団体「愛と幸せのネットワーク」や「中央小学校子どもたちを育てる会」等と連携した登下校の見守り活動やラジオ体操、年間を通じた読み聞かせの活動などに取り組み、学校と地域が連携・協働した児童の健全育成に大きな成果を上げている。

― 児童の基礎的・基本的な知識及び技能の習得や学習習慣の確立 ―

児童に確かな学力を身に付けさせるため、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や学習習慣の確立に努めている。

特に、国語科及び算数科において、漢字や四則計算を中心に達成目標を明確にした、学校独自の「中央小検定」を実施するとともに、１日の学習時間を確認できる「家庭学習カード」を活用し、学習意欲を高めながら学習習慣の確立を図る活動等に取り組み、学力向上に成果を上げている。

― 家庭や地域とともにある学校の一員として ―

先生方は子どもの現状について、家庭や地域に学校だよりやホームページ等を通して、分かりやすく説明してくれています。

また、「中央小検定」や「家庭学習カード」等の取組を通して、子どもが意欲的に学んでいます。

中央小学校区は、学校・家庭・地域が同じ目標に向かって、子どもを育てる土台があり、地域の方々と一緒に色々な体験活動ができ、心強く感じています。（保護者の声）